

令和 7 年度事業報告

I 事業

令和 7 年度は、海外景気の下振れや慢性的な人手不足、物価高騰を始めとした中小企業を取り巻く厳しい環境が続く中、名古屋市の産業振興、中小企業支援という使命を果たすため、中小企業に必要とされる各種支援施策の推進に取り組んだ。

具体的には、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業のほか、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の普及啓発、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業、中小企業等がデザインを活用する事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中小企業振興会館等を管理運営し、利用率の向上に努めた。

【公益目的事業の実施状況】

1	先端技術研究開発推進事業	収益	44,662 千円
		費用	44,662 千円
		差額	0 千円

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・公益財団法人名古屋産業科学研究所
 - 「S i C単結晶を用いた高精度切削工具の研究開発」
 - 「触覚センサ付きロボットハンドによる加工食品のハンドリングに関する研究開発」
- ・株式会社 LINOVATH（事業管理機関：公益財団法人名古屋産業振興公社）
 - 「慢性疼痛を根治する新規医療機器の実現化開発及び量産技術開発」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	収益	23,294 千円
		費用	28,797 千円
		差額	△5,503 千円

「プラズマが拓くものづくり研究会（P L A M）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、名古屋市工業研究所と連携し、プラズマに係る技術相談等の支援を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組んだ。

また、最新のプラズマ技術及びその周辺技術をテーマにした講演会等を開催、メーリングリストによる関連団体のプラズマ関連情報の配信等により、プラズマ技術全般に関する情報提供を行った。

(1) プラズマに関する技術支援

名古屋市工業研究所と連携をとりながら、専門的知識・経験を有する職員が企業からの技術相談に対応した。

〔 技術相談 6 社 6 件 〕

(2) PLAMの運営

〔 会員企業 3 3 6 社
講演会・見学会開催 2 回
参加者 9 4 人 〕

(3) プラズマ周辺技術に関する情報提供

〔 セミナー 8 回
参加者 2 1 5 名 〕

3	共同研究事業	収益	262,736 千円
		費用	262,736 千円
		差額	0 千円

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の管理運営を行った。

成長型中小企業等研究開発支援事業（※経済産業省の補助事業）

【令和5～7年度事業】

- ・テーマ 「免疫強化作用を訴求した3種の機能性米セラミド食品原料の研究開発および事業化」
- ・テーマ 「油中微粒子の組成をリアルタイムに計測する掌サイズのプロアクティブセンサの開発」
- ・テーマ 「燃料電池用の白金代替、削減非貴金属触媒電極・電解質膜接合体 MEA シートの開発」
- ・テーマ 「抗原抗体反応及び電気化学を応用したポータブル型微量成分濃度計測装置の開発」

【令和6～8年度事業】

- ・テーマ 「慢性疼痛を根治する新規医療機器の実現化開発及び量産技術開発」
- ・テーマ 「オールバイオマス化に向け化石資源使用を低減する木質複合材のプレス成形プロセス開発と家電筐体への実用化」
- ・テーマ 「テイラー渦流ナノリアクターによる連続晶析量産技術の研究開発」
- ・テーマ 「災害支援での複数台超小型ドローンを活用したリアルタイム映像共有システムの開発」

【令和7～9年度】

- ・テーマ 「いつでもどこでも綺麗で清潔に使用できる完全循環式エコトイレ『eCo C⁴（エコカルテット）』の開発」
- ・テーマ 「超臨界CO₂ロボット加工システムによるフレキシブル生産の実現」

4	研究開発促進事業	収益	15,135 千円
		費用	15,838 千円
		差額	△703 千円

(1) 産学行政連携支援事業

ア 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会

開催 1回 参加者 95人

イ ロボット・ICT分野

- ・Nagoyaオープンイノベーション研究会（Nova）

開催 2回 参加者 96人

ウ ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回 参加者 52人

- ・材料活用研究会

開催 1回 参加者 11人

エ デザイン分野

- ・ものづくりデザインプラットフォーム

開催 1回 参加者 21人

オ 先端技術分野

- ・革新的技術研究会

開催 1回 参加者 33人

(2) 医療介護機器等高度化支援事業

ア ヘルスケアイノベーション推進会議

開催 2回 参加者 18人

イ 医療機器開発支援セミナー

開催 1回 参加者 26人

ウ ヘルスケアイノベーション推進会議医療介護機器開発事例発表会

開催 1回 参加者 33人

エ 介護機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 53人

オ 医療介護機器等実証評価

評価件数 5社5製品

カ 展示会出展

『C a r e T E X名古屋25』

『メディカルメッセ2026』

5	新事業創出支援事業	収益	288,327 千円
		費用	288,325 千円
		差額	2 千円

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業経営、創業・新事業等を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するネージャーが窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。

中小企業からの経営相談として、原材料費の高騰や円安の進行、人手不足の深刻化など、中小企業を取り巻く外部環境の変化への対応に関する相談が引き続き多く寄せられた。これらを踏まえ、売上の回復や収益性の改善に加え、IT の活用による業務効率化・生産性向上や、生成 AI の活用による業務高度化・新規事業への取組に関する事業計画の策定支援など、持続的な発展に向けた取組へのニーズが一層高まっている。

また、窓口相談等において支援した企業の中から、継続的な支援が必要と判断される企業を選定し、経営課題の解決及び成果目標の達成に向けて、各分野の専任マネージャーで構成するチームによる伴走型相談支援を実施した。

さらに、名古屋市内の中小企業のデジタル化活用を推進していくために実施した「中小企業デジタル活用支援補助金」についての事前相談及び採択事業者への伴走支援を実施した。

相談企業	819社・者
相談等延件数	2,153件
※上記のうち、中小企業デジタル活用支援補助金の事前相談および伴走支援は183件	
伴走型相談支援	
重点支援企業数	53社・者
相談件数	238件
成果目標達成企業数	10社・者

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業	3社
派遣回数	6回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業	4 社
派遣回数	2 6 回

(ウ) 創業研修事業

名古屋市内で起業を目指す方・起業に関心のある方を対象に、創業時に必要な情報や創業の魅力等について提供するため、創業セミナーを開催した。

開催日	令和7年5月13日（火）、11月14日（金）
場 所	ナゴヤイノベーションズガレージ（オンライン併催）
参加者	121人

(2) 小規模企業経営力強化支援事業

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、小規模企業経営アドバイザーの訪問等による各種相談のほか、小規模企業経営基盤強化設備投資補助金の交付事務を行った。

小規模企業経営アドバイザー	
相談企業	84社・者
相談件数	409件
小規模企業経営基盤強化設備投資補助金	
交付件数(令和6年度認定)	31件

(3) ビジネスマッチング事業

ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、公益財団法人あいち産業振興機構等と共催でビジネスプラン発表会を開催した。

プラン発表企業	2 社
発表会参加者	9 3 人

(4) 中小企業デジタル活用支援事業

中小企業の経営基盤の強化を図るため、賃上げを含む経営課題の解決に資するデジタル技術の活用を支援した。

中小企業デジタル活用支援マネージャー	
相談企業	106社・者
相談件数	127件
中小企業デジタル活用支援補助金	
交付件数	42件

(5) 中小企業カスタマーハラスメント対策支援事業

中小企業における就業環境の改善を図るため、カスタマーハラスメント対策に取り組む中小企業を支援した。

中小企業カスタマーハラスメント対策支援マネージャー	
相談企業	65社・者
相談件数	68件
中小企業カスタマーハラスメント対策支援補助金	
交付件数	44件

(6) デザイン活用によるサステナブルビジネス展開支援事業

デザインを活用し、SDGsの推進につながるサステナブルビジネスを展開して競争力強化を図る中小企業を支援するため、セミナーの開催や専門家による伴走支援等を実施した。

セミナーの開催	3回
ワークショップの開催	1回
成果発表会の開催	1回
専門家派遣企業	16社
専門家派遣回数	66回（中小企業診断士）
専門家派遣回数	112回（デザイナー）

(7) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi／金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi／白金）の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催	23回
経営相談	760件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者への支援を行った。

イ 創業ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi／金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi／白金）において、小規模区画を創業希望者等に廉価で貸与したほか、名古屋ビジネスインキュベータ（nabi／金山）の一部区画については女性専用の「女性創業ルーム」として貸与した。

ウ 創業準備ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi／白金）において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、マネージャー（創業担当）等による研修及び相談支援を行った。

第28期・第29期利用者	28人
令和7年度創業者	15人

収益	58,944 千円
費用	70,356 千円
差額	△11,412 千円

(1) 普及啓発事業

ア なごや・サイエンス・ひろば

市民、とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介及び科学技術に関するイベント等を行う「なごや・サイエンス・ひろば」を実施した。

開催日	令和7年8月2日（土）
場所	なごやサイエンスパーク
参加者	1,327人

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク 連携推進会議の開催	1回 24人
--------------------------	--------

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2025」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日	第1次審査会	令和7年6月2日（月）
	最終公開審査会	令和7年9月18日（木）
場所	第1次審査会	東京都立産業貿易センター（浜松町館）
	最終公開審査会	デザインホール （ナディアパーク・デザインセンタービル）
応募作品	6,419点（うち海外からの応募作品228点）	
来場者	697人（最終公開審査会）	

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催	5回	参加者	183人
----	----	-----	------

(3) 異業種交流グループの活動支援

異業種企業の相互ネットワーク作りや情報交換を促進するため、講習会や講演会、並びに見学会等を実施した。

講習会・講演会	14回
優良企業の見学会・交流会	21回
他都市の先端企業の見学会・交流会	7回
会員交流会等	9回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「ものづくりに活かす感性工学」をテーマとした、ものづくり技術講演会を名古屋市工業研究所と共催で開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを名古屋市と共催で実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日	令和8年2月20日（金）
場 所	名古屋市工業研究所
参加者	148人

イ 工業技術グランプリ

受賞数	12社
※ものづくり技術講演会で受賞企業及び受賞事例を紹介	

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料（約4万冊）を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者	5,269人
情報交流フロア利用者	12,733人

7

産業人材育成事業

収益	44,507千円
費用	43,721千円
差額	786千円

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

工業技術に関する研修、講座等を名古屋市工業研究所等と連携して開催することにより、従業員の技術及び技能の向上を図り、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承等を支援した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース	
受講者	79社 117人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

鉄工（構造物鉄工作業）技能士受検対策講座など3コース	
受講者	35社 38人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会（ものづくり支援講座8コース）等を開催した。

ア	産業用ロボット特別教育講習会		
	〔開催 年6回 受講者	42社	82人〕
イ	現場管理者の生産管理（トヨタ生産方式）研修		
	〔受講者	7社	14人〕
ウ	機械設計図面の見方・読み方研修		
	〔受講者	16社	27人〕
エ	機械設計図面の描き方研修		
	〔受講者	10社	11人〕
オ	知的財産担当者養成講座		
	〔受講者（前期）3社		4人〕
	〔受講者（後期）4社		6人〕
カ	機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修		
	〔受講者	5社	7人〕
キ	周辺視目視検査法 入門		
	〔受講者	12社	22人〕
ク	産業用ロボット導入基礎コース		
	〔受講者	9社	10人〕

（3）技術経営（MOT）研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、（公財）科学技術交流財団、（公財）名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修（基礎コース・実践コース）を実施した。

〔受講者	基礎コース	38人
	実践コース	18人

8	工業技術情報提供事業	収益	3,966千円
		費用	2,965千円
		差額	1,001千円

（1）新春講演会の実施

開催日 令和8年1月29日（木）
場 所 名古屋市工業研究所
テーマ ビジネス温故知新

講演会＜第1部＞「豊臣政権を「経営」した兄弟～秀吉と秀長のほんとうの関係～」

九度山・真田ミュージアム名誉館長/大阪城天守閣前館長
北川 央 氏

＜第2部＞「つなぐ～100年企業5代目の葛藤と挑戦～」

株式会社能作 代表取締役社長 能作 千春 氏

参加者 講演会 129名 交流会 88人

(2) 「技術のひろば」の発行

〔発行 2回 発行部数 各1,500部〕

(3) 商品展示・カタログ展示

ア 商品展示

〔展示場所・企業数 ナディアパーク・デザインセンタービル 6社〕

イ カatalog展示

〔展示場所・企業数 名古屋市中心企業振興会館 47社
名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや） 47社
名古屋市工業研究所 48社〕

(4) 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

(5) 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

(6) 賛助員の企業情報を発信

公社ウェブサイトに掲載を希望する賛助員企業を紹介

〔賛助員数 233社（令和8年3月31日現在）〕

(7) 知的財産普及啓発活用事業

ものづくり企業の競争力の更なる向上を図るため、中小企業が活用したい特許ニーズを聞き取り企業間のマッチングを支援したほか、知的財産に関する講演会を開催した。

〔特許ニーズの聞き取り 22社
講演会の開催 1回 20人〕

(8) 新技術産業応用支援事業

中小企業の製造現場等を取り巻く新たなニーズに対応するため、サイバーセキュリティに関する講演会を開催した。

〔講演会等の開催 1回 23人〕

経済交流・誘致促進事業	収益(※)	212,992 千円
	費用	212,483 千円
	差額(※)	509 千円

※収益には積立資産取崩額（21,739 千円）を含む。

(1) 外資系企業等誘致の推進

愛知県、名古屋市及び当公社で組織するコンソーシアム（INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM）により、外資系企業を対象に展示会の出展支援、ならびに外資系企業ネットワーク懇談会を開催した。また、当地域への誘致を図るため、国際見本市や展示会等の出展企業を訪問し、進出有望企業の発掘を行った。

外資系企業の誘致件数	8 件
メッセナゴヤ 2025 への共同出展	8 社
外資系企業ネットワーク懇談会参加者	69 人

(2) 見本市・展示会の開催

第14回次世代ものづくり基盤技術産業展 ～TECH Biz EXPO 2025～

開催日	令和7年5月28日（水）～29日（木）
場 所	吹上ホール
出展者	210社・団体
来場者	6,212人
内 容	我が国の基幹産業である製造業の発展を支え、当地域の産業技術の高度化と新技術の開発に寄与するものづくり最新要素技術を幅広く紹介

建設技術フェア2025 in 中部

開催日	令和7年12月4日（木）～5日（金）
場 所	ポートメッセなごや第3展示館
出展者	427社・団体
来場者	23,523人
内 容	国土交通省中部地方整備局と共催で、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発の現状と方向性、新技術の導入等を紹介（中部ライフガード TEC と同時開催）

第13回中部ライフガードTEC2025 ～防災・減災・危機管理展～

開催日	令和7年12月4日（木）～5日（金）
場 所	ポートメッセなごや第2展示館
出展者	113社・団体
来場者	8,689人
内 容	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議と共催で、BCP・BCM関連、避難・備蓄対策、地震対策等を展示紹介

産業デザイン振興事業	収益	130,201 千円
	費用	130,093 千円
	差額	108 千円

中小企業における産業デザインの振興を図るため、デザイン無料相談や専門家派遣といった中小企業等がデザインを活用する支援のほか、クリエイター創業支援スペースの企画運営やデザイナー交流会の開催などデザイン人材の育成に取り組んだ。

また、デザインを活用した製品・事例の情報発信やセミナーの開催を通じ、デザインの持つ幅広い価値の普及啓発に取り組んだ。

(1) 中小企業のデザイン活用支援

ア 講師・委員派遣

デザイン啓発や普及のため、名古屋市、民間企業等からの依頼に応じ講師、委員としてデザインに関する専門性を有する職員を派遣した。

・派遣回数 15回

イ デザイン無料相談

商品開発から広告宣伝、ウェブデザインなど広く企業活動全般におけるデザイン活用に関し、デザインに関する専門性を有する職員が相談員となり、相談等を希望する企業に面談等による無料相談対応を行った。

・相談件数 58件

ウ クリエイティブ企業情報プラットフォーム等の運用

(ア) クリエイティブ企業情報プラットフォーム

名古屋市を中心とする当地域のデザイン事務所・クリエイティブ事業者の情報検索サイト「クリエイティブ企業情報プラットフォーム」により、事業者が保有する技術や特徴、背景にあるストーリーなどを紹介することで、エンドユーザーの事業者への理解、親和性を高めるとともに、事業者相互の共同・協業を促進する環境づくりを推進した。

・登録事業者件数 318件（令和8年3月31日現在）

(イ) ECサイト「ツクリガタリ」の運営

中部地域のつくり手とデザイナーにより生み出された製品を軸に、テストマーケティングの一環として販売するECサイト「ツクリガタリ」を運営した。ECサイトとSNSによる情報発信により、用いられている技術や開発の背景等と併せて紹介・PRを行うとともに、他事業への参加を促した。

・登録件数 15事業者 66アイテム

(2) デザイン・クリエイティブ人材の育成

ア クリエイター創業支援スペースの企画運営

当地域での創業や販路拡大、またはクリエイティブ産業分野への業態転換を目指すクリエイターや事業者の商品販売を行い、事業展開をバックアップするため、クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」を設置し、公募により選ばれた出店者に対し、職員による販売・デザイン等のアドバイスを受けながら商品の試験販売や活動紹介を実施できる場を提供した。

・出店者数 17事業者 ・年間来場者数 6,532人

イ デザイン団体との連携による交流会・セミナー等の開催

デザインの持つ幅広い価値の普及啓発や地域のデザイナーの質的向上、並びにクリエイティブ人材の育成のため、スクール等の開催や産業デザインの振興に取り組むデザイン団体と連携した交流会・セミナー等を開催した。

- ・デザインスクール等開催回数 開催 12回 参加者 450人
- ・交流会・セミナー等開催回数 開催 14回 参加者 2,191人

ウ 起業家育成事業

ナディアパーク・デザインセンタービル7階にインキュベーター施設「デザインラボ」を設置し、入居審査によって選考された、新規ビジネスを目指すデザイン関連企業や企業のデザイン部門、デザイン関連事務所等にスペースを提供するとともに、デザインの専門性を有する職員が事業展開等について相談・助言の対応を行った。

- ・相談企業 3社
- ・相談・助言件数 4件

(3) デザイン普及・振興事業

ア 展示・イベント事業

デザインギャラリーの企画運営を通じ、デザインの普及及び振興を図るため、当地域のデザイン団体等との連携による展示会等を開催した。

- ・展示会 開催 26回
来場者 4,633人

11	関係団体事務受託事業	収益	3,190 千円
		費用	4,028 千円
		差額	△838 千円

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員数
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	元名古屋市工業研究所 所長 山下菊丈	21社
テクノプラザナゴヤ001 会長 名古屋樹脂工業株式会社 代表取締役社長 伊藤 誠一	名古屋工業大学 産学官金連携機構長/教授 矢野卓真	16社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気ホールディングス株式会社 名誉会長 萩原 義昭	元(国研)産業技術総合研究所 セラミックス応用部 副部門長 渡村信治	20社
テクノプラザナゴヤ91 会長 株式会社丸三金属 代表取締役 成瀬 一晴	元名古屋市工業研究所 材料化学部長 福田博行	8社

(2) 各種研究団体

中部塗装技術研究会
中部歯車懇話会
中部溶接振興会
名古屋テキスタイル研究会
日本カム工業会
鍍金技術研究会
東海無機分析化学研究会
ロボット加工技術研究会

12	産業振興施設の管理運営	収益	1,072,689 千円
		費用	966,606 千円
		差額	106,083 千円

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中心企業振興会館		
吹上ホール	95件	263日
第1ファッション展示場	118件	261日
第2ファッション展示場	110件	246日
デザインホール	116件	202日

(2) 研究開発・支援施設

ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金

名古屋ビジネスインキュベータ (n a b i /金山)	入居 22 社
(令和 8 年 3 月 31 日現在)	
名古屋ビジネスインキュベータ白金 (n a b i /白金)	入居 39 社
(令和 8 年 3 月 31 日現在)	

イ サイエンス交流プラザ

インキュベータ入居	8 室	
大会議室利用	48 件	
中会議室利用	72 件	(令和 8 年 3 月 31 日現在)

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	収益	86,134 千円
		費用	43,812 千円
		差額	42,322 千円

名古屋市中小企業振興会館等の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、第 1 回吹上酒蔵まつりの開催や会館の催事案内を掲載したイベントカレンダーの作成を行った。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品使用料収益	50,774 千円
自動販売機売上等手数料収益	14,564 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	収益	76,001 千円
		費用	65,549 千円
		差額	10,452 千円

名古屋市中小企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。

3	ナディアパークの管理運営	収益	81,200 千円
		費用	61,779 千円
		差額	19,421 千円

ナディアパークについて、区分所有者により委託された管理者業務として管理運営を行った。